

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		4
部	総合政策部	課	文化振興課	

1. 指定概要

施設概要	名称	かわらミュージアム		建設年	平成7年（大規模修繕 年）	
	所在地	近江八幡市多賀町738番地2		利用対象	全市 地域	
	設置目的	八幡瓦を中心とした瓦技術と文化、歴史を後世に伝え、郷土愛を育み、もって市の教育、芸術、文化、観光等の振興を図る。				
	規模	敷地面積 2,853.0㎡、延べ床面積 1,436.4㎡、階数 地上2階				
	指定管理 開始年度	平成24年				
指定管理者	名称	株式会社パソナジョイナス（令和5年3月31日以前の社名は 株式会社かんでんジョイナス）				
	所在地	大阪府大阪市北区梅田三丁目3番10号				
指定管理業務の内容		1. かわらミュージアムの施設又は設備の使用の許可等に関する業務 2. かわらミュージアムの維持管理に関する業務 3. かわらミュージアムの利用に関する料金の徴収等に関する業務 4. かわらミュージアムの設置目的の達成に資する事業に関する業務 5. かわらミュージアムの利用者の利便性を向上させるために必要な業務 6. その他かわらミュージアムの運営に関し近江八幡市が必要と認める業務				
指定期間		令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（5年間）				
指定管理料		令和3年度：21,120千円 （資料館・旧西川家住宅と合算）	令和4年度：24,400千円 （資料館・旧西川家住宅と合算）	令和5年度：24,400千円 （資料館・旧西川家住宅と合算）	令和6年度：24,400千円（見込） （資料館・旧西川家住宅と合算）	
利用料金制		採用している		選定方式	公募	応募者数 1

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和5年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	[目標] 安全で安心して利用できる施設の維持管理を行う。 [具体的な取り組み] ①施設の維持管理業務 - 施設の日常点検と保守管理 - 毎日の清掃作業 - 施設内の樹木の剪定及び除草等 - 設備の定期的な点検 ②備品の管理業務 - 施設の備品の日常管理	①施設の維持管理業務 - 施設の日常点検と保守管理（随時） - 定期的な施設内外の清掃業務 - 敷地内の樹木の剪定及び除草作業の実施（随時） - 法律で定められた設備の定期点検を専門業者に委託して実施 ②設備の管理業務 - 施設の備品の日常管理（随時） ・コスト意識を持ち、複数の業者との相見積を実施するとともに、市内業者の優先的な採用にも配慮した。 ・建設設備の老朽化が激しく、来館者の安全を確保するため丁寧な管理や慎重な修理、作業を心掛けた。	(よかったと評価できる事項) 継続して丁寧な施設管理が行われています。
	(サービスの運営上策)	[来館者満足度の向上] - ホスピタリティ溢れるおもてなし対応の徹底 [情報発信、提供の強化] - 職員による簡易解説の実施 - 映像による近江八幡市の紹介。 [外国人観光客対応の強化] - クラウド通訳サービス（英・中・韓）の導入。 - 受付案内、注意事項などの多言語化 - 展示品の英文説明 [利用者の声の反映について] - 来館者への積極的なコミュニケーション、アンケートの実施（常設・企画展）、団体・旅行会社（担当・ガイド）へのヒアリング - 定例ミーティングの実施	【各種研修の実施】 個人情報保護教育研修20239. 27～2023. 10. 10 WEBにて各自が期間内に受講を完了した。 ・職員による、簡易な展示解説の実施 ・近江八幡市の紹介 ・企画展開催時に書き込みノート形式による来館者の意見を収集し、来館者のニーズに合わせた企画展実施に向けた検討材料とした。	(よかったと評価できる事項) 例年通りサービスのレベルを継続しています。
	(提案内容の実施業務その他の自主事業)	職員のアイデアや市民と作り上げていく事業やイベントを開催。 - 現代アートなどの現代絵画や陶芸作品の個展。現代アーティストの個展。八幡堀の景観などの個展。 - かわら作品の作成。 - 節句人形展示。 - 音楽イベント。 - 地域イベントへの協力（八幡堀まつり）。	【かわらミュージアム】 企画展示室を利用し、地域に密着した企画展を7回実施 - 人生を楽しむおやじ二人展」出展者は近江八幡市在住、草津市在住 「釣人の心に刻まれた風景 色えんぴつ画展」出展者は東近江市在住 「中山節子 切り絵とペーパークイリング展」出展者は竜王町在住 「創作竹灯籠展示発表会・体験」出展グループの拠点は竜王町 「やすようご アートフェスタ」野洲養護学校高等部による展示 「新春名品展 蒲生郡古墨張り混ぜ屏風」市文化振興課と共催 「書窓展 桜色の風に誘われて」出展者は守山市在住、近江八幡市文化事業（こども未来プロジェクト）アートマスター…展示に合わせて、4人による5回の演奏会を実施 【体験教室の実施】 「夏休み手作り体験教室」滋賀県開催のしがこども体験学校プログラムにて 「野洲養護体験教室」企画展アートフェスタコラボ企画としてかわら焼き体験を実施 【物品販売】 - かわらミュージアムオリジナル商品（かわら焼きグッズ、置物など）を作成し、館内販売および通販販売も実施	(よかったと評価できる事項) 多様な企画をされている点を高く評価します。継続してください。
				(改善を要した事項と対応) 特になし。
				(課題) 特になし。

施設設置の目的達成状況	(利用促進策) 施設利用状況	[営業強化] ・共通チケットの販売 ・旅行雑誌、ネットへの掲載 ・バス会社・鉄道会社への営業 [近隣施設、商店、関係機関との連携強化] ・観光物産協会とのさらなる連携と情報共有 ・八幡堀周辺飲食店、物販店等との連携、協力 [学校団体の受入促進] ・学校団体向け見学プランの開発 [SNSの活用] ・InstagramやX（旧Twitter）等のSNSでの画像発信力の強化 ・景観の良さを存分に活かし、写真撮影スポットとしてPR強化	・資料館、旧西川家住宅、かわらミュージアム各館での共通券販売の推奨 ・じゃらんnet予約サービスの活用（資料館、旧西川家住宅、かわらミュージアム（+体験工房）の共通券販売 かわらミュージアム 令和5年度入館者数：14,785人（体験工房・研修室除く） ホームページの更新 SNSのX（旧Twitter）を日常的に更新	(よかったと評価できる事項) HPにて最新の情報を発信していることや、X(旧Twitter)での高頻度の投稿など、インターネット・SNSを利用したPR事業を強化されたことを評価します。 ・また、積極的な取材受入についても評価します。
				(改善を要した事項と対応) 特になし。
				(課題) ・観光物産協会や周辺の観光施設とのさらなる連携と情報共有を進めてください。

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和5年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	資料館・旧西川家住宅・かわらミュージアム（合算）	資料館・旧西川家住宅・かわらミュージアム（合算）	収益を黒字となるよう努力されたことを評価します。
	収入合計 37,261,645円	収入合計 38,439,186円	
	入館料収入 9,988,210円	入館料収入 10,867,160円	
	指定管理料 24,400,000円	指定管理料 24,400,000円	
	その他収入 2,827,665円	その他収入 3,106,026円	
	自主事業収入 45,770円	自主事業収入 66,000円	(改善を要した事項と対応) 自主事業費について、下記課題のとおりです。
	支出合計 36,987,003円	支出合計 38,487,761円	
	人件費等 22,480,879円	人件費等 22,508,374円	
	事務費 7,544,199円	事務費 6,026,514円	
	管理費 6,655,081円	管理費 9,743,549円	(課題) 自主事業が赤字となっています。参加費徴収、貸館代などを検討のうえ、収入確保に努めてください。
	自主事業費 306,844円	自主事業費 209,324円	

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	自主事業の企画展では、各回感想書き込みノートを設置し、来館者より感想を募っている。
評価頂いている内容	多種多様な展示が見られること、展示内容が面白いなど。
苦情・意見等	特に苦情はなかったが、利用者に丁寧な説明を要するケースは多々あり、今後も引き続き丁寧な対応を心掛け、来館者対応を行って行く。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

かわらミュージアムは28年目を迎え、設備の老朽化が進んできています。特に建物については、雨漏れをはじめ多くの不具合が発生しています。また、屋外の通路も瓦の破損や部分的な陥没により段差が発生し、高齢者や車いすの通行に支障をきたしています。さらに、館内の消火設備・エレベーター・自動ドア等も消耗部品の更新時期を迎えています。このような不具合を解消し、お客さまを安全にお迎えするために、設備の計画的な改修を要望いたします。 減免入館者受け入れに伴う、補助金の補填をお願いしたい。（近江八幡市内小・中学生除く）

6. 指定管理者の自己評価コメント

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着き、外出の機会も増えたことから観光客が少しずつ戻りはじめ賑いを取り戻してきている。団体客なども戻り始めていることから、旅行会社などへのDM発送などの取り組みを行った。今後も継続した取り組みを行い、来館者増加を目指していきたい。 昨年度より、新HP作成やSNS(Twitter)を新たに実施した分に加え、Instagramも実施中。継続的・積極的な発信を行い近江八幡市の観光拠点となるよう引き続き取り組んでいきたい。

7. 所属の総括コメント

八幡瓦をテーマとしながら、他分野にわたる企画展により、広い分野の文化芸術を提供しています。また、昨年より続けてHPの更新やSNSアカウントを利用した最新の情報発信等、積極的に新しいPR事業の取り組みを実施されました。ぜひ継続してください。八幡堀に面したロケーションや、体験プログラムがあることなど、特徴を活かした更なる企画やPRも期待しています。今後も観光拠点かつ歴史文化の拠点であることの発信を行い、入館者増加の取り組みを推進してください。
--